

箕輪町 議会だより

みんなのぎかい

Minowa Town Assembly News

第90号
2024.11.1

私の町のお財布事情

～まちは何にお金を使ったか～

…P2・3

さぬた農園のイチョウと西山の風景

CONTENTS

- 9月定例会で決まったこと …… P4
- 審査のなかみ …… P5・6
- 町政のここが聞きたい！
一般質問 …… P7～22
- 活動日誌 …… P22・23
- 自治のチカラ …… P24



議会ホームページ

▶ 一般質問の様子を動画で！ 各議員の二次元コードを読み取ると動画を視聴できます。

町政の運営は良好



決算は、予算を執行して結果どのような成果を挙げたかを示す「成果報告書」。

議会は、町民の皆さんに代わって、予算が適正に使われたか、費用対効果や町の将来を見通した運用になっているかなどを確認して評価しました。※令和5年度決算の情報は「みのわのみ11月号」に掲載されています。

令和5年度一般会計決算額

歳入 134億5,719万円 (前年度比104.92%)

歳出 127億1,443万円 (前年度比109.5%)

7億4,276万円の黒字決算

個人町民税 13億6,668万円 (前年度比4.4%増) → コロナ回復などが要因

法人町民税 2億8,712万円 (前年度比8.3%減) → 物価高騰などが要因

町政では黒字が
良いとは限らない!

大幅な黒字を財源にして、ほかに使うべきところがあったのではないかと
の見方もあります。本来は収支のバランスがとれているのが理想です。

未来のための借金

町債 10億9,010万円

(前年度比212.5% 5億7,710万円増)

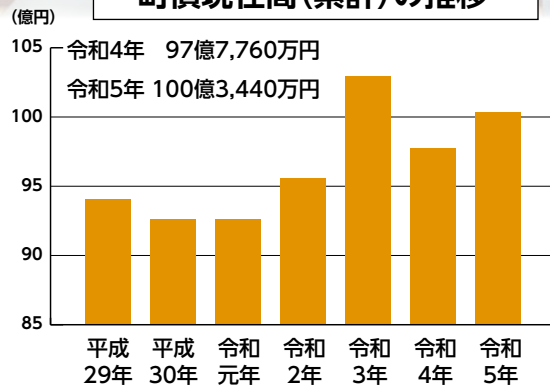
要因は、ゼロカーボン推進費、防災交流施設建設、郷土博物館改修事業。みんなが未来に投資したいことに、適切に使われているでしょうか?

町の財政状況

項目 〔ひと言でいえば〕	数値	県内 58 町村中
財政力指数 〔財政力〕 町の財政の体力度。指数が高いほど財政に余裕がある。	0.575	5 位
経常収支比率 〔弾力性〕 町の財政の柔軟性。低ければ低いほどよい。	85.9%	44 位
実質公債費比率 〔借金返済割合〕 町の借金返済額の割合。	8.2%	40 位
将来負担比率 〔財政圧迫度〕 収入に対し将来、町が負担する借金などの割合。	30.1%	県で 集計中

※数値は9月27日時点の速報値であり、今後変更になることがあります。

町債現在高(累計)の推移



町債(地方債)とは?

未来に残る町の借金。町の財政力に応じた未来への投資。

松本代表監査委員より

資産運用は良好。予算の執行は不用額の多いものが見受けられるため、定期的に確認して減らす努力を。

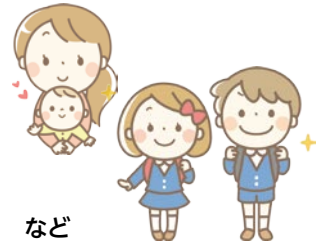
財産管理は老朽化施設の維持管理・改修が今後も課題。自主財源の確保を模索しつつ、一層の行政改革の推進を期待する。



町の重点施策に使ったお金はどれくらい？

1 少子化人口減少対策

- ・児童手当支給総額 **3億6,450万円** (支給延べ児童数33,342人)
- ・子育て支援センター **2,407万円**
- ・発達支援等(病児・病後児保育、相談事業等) **3,728万円**
- ・小中学校入学祝金 **1,651万円**
(小学校2万円208人、中学校5万円247人)
- ・出産(208人)・子育て(203人)応援ギフト等 **973万円** など



2 ゼロカーボン推進

- ・公共施設の太陽光発電設備・LED・業務委託 **2億3,887万円**
- ・ソーラーカーポート設置 **1億5,157万円**
- ・家庭における推進補助金 **4,626万円**
- ・ゼロカーボン推進イベント等 **557万円**
- ・役場公用車EV購入費等 **1,400万円**
- ・農業用施設エネルギー転換推進(薪・ペレットストーブ等の補助) **482万円** など



出典:ダイシンインターナショナル(株)

3 DX推進

- ・情報化推進費 **8,887万円**
(通信センター委託、サーバー機器保守等)
- ・道路台帳デジタル化 **3,663万円**
- ・ICT教育 **1,800万円**
- ・DX推進補助金(11件) **407万円**
- ・電子書籍化事業 **33万円**
- ・デジタル人材育成委託料 **322万円**
- ・防災アプリ保守・みのわメイト改修 **417万円** など



DXってなに？

デジタルトランスフォーメーションの略。ペーパーレス化や電子決裁など、デジタル技術を用いて業務やビジネスを変革し効率化すること。



不用額が多すぎる(8億8,889万円)。厳格な執行管理を。

予算編成時に適切な見積りを。執行状況をみて、定期的に確認し減額補正を。

ふるさと納税が大幅増だが、新たな自主財源の確保も必要。

農業施策で新規就農者の育成の成果は？

事業展開にあたり「委託」が増えている。検証はしているか。

委託先の専門性は適正か。

課ごとの共通契約は、一元管理されているか。また契約が慣例化になっていないか。

令和5年度決算に対する

議員の視点

町の予算が目的どおりに、効果的に使われたのか。議員それぞれの視点で審議しました。



任意である予防接種に1億8,267万円と多くの財源が使われているのか。

ハッピーサポート事業は少子化対策になっているか。

納税猶予、滞納者の実態調査は？

ICT教育が進められているが学力向上に結びついているか？

教育事業は前例踏襲になっていないか。

9月定例会で こんなことが決まりました

決定!

9月2日から17日までの会期で開催されました。
決算・補正予算、条例改正など全24議案を審議し、
原案どおり可決しました。

補正
予算

中学校駐車場用地
取得

町道6号線沿いに70台程度
の駐車場を整備

2,479万円

補正
予算

保育園・小中学校給食費食材
高騰分支援追加

1,065万円

補正
予算

乳幼児用おもつ
購入助成拡大

1,067万円

補正
予算

農村公園駐車場
舗装(福与公民館下)

絶景スポット前の
駐車場舗装

300万円

補正
予算

水田活用交付金継続支
援事業対策

法改正に伴い交付対象から
除外となる農地の対策

200万円



転作された水田

農家が
ピンチ!

法改正に伴い交付対象から除外となる農地の対策

現在は米の安定供給のほか、多面的機能の維持強化等
のため麦・大豆・そばなどに水田を活用する農家に対し交
付金がある。

水田の要件が厳格化された

今後5年間、
水張りをしない
水田は補助金の
対象外となる

離農や
耕作放棄地の
増加?

町では「あぜぬり(水もれ
を防ぐためにすること)」な
どをして、水を張れる状態
にする場合の補助を行う。
今回の費用では11haの対
策に過ぎない。どう農地を
守っていくか対策が急務。

請負
契約

小中学校LED照明賃貸借契約

契約者 株式会社NEXYZ.(東京都)
町内小中学校の照明3,592台のリース
5ヵ年契約

4,125万円

照明は
リースの
時代?

照明の機器は年々進化し、LED化による省エネを
推進している。リースであれば、初期費用がかから
ず切り替えできる。一方でリース契約は途中解約は
原則できず、保険料や手数料がリース費用に上乗せ
となる。町は、5年契約でリース契約を行った。LEDによる節電
効果の検証と、期間中の保守管理など状況をみていく。

請負
契約

文化センター・屋外運動施設
LED照明機器賃貸借契約

契約者 株式会社北産業(松本市)
文化センター477台、番場原第一
運動場115台他のリース5ヵ年契約

2,229万円

請負
契約

社会資本整備事業橋梁補修工事

契約者 浅川建設工業株式会社(箕輪町)
町道8号線天竜川箕輪橋の補修工事

5,555万円

ココに
注目!

Q.都市計画道路で12m
の幅員が必要だが?
A.現状の幅員のまま補
修する。



請負
契約

公用車(電気軽乗用車)4台

契約者 有限会社伊那コニー(箕輪町)
ゼロカーボンを推進するための電気自
動車購入

1,112万円



賛否が分かれた審議

※討論の詳細は会議録検索システムで後日議事録を
閲覧することができます。

提案の趣旨	提出者	入 杉 百 合 子	小 出 嶋 文 雄	南 朋 子	平 出 広 志	小 口 智 世	中 村 政 義	中 澤 清 明	上 田 学	北 野 め ぐ み	金 澤 幸 宣	白 鳥 真 吾	中 野 友 美	岡 田 建 二 朗	寺 平 秀 行	荻 原 省 三	結果
「現行の健康保険証の存 続を求める意見書」の提 出を求める陳情書	長野県保険医協会 会長 宮沢裕夫	○	×	○	○	○	○	×	○	×	×	○	○	○	×	-	採 択

人事案件

人権擁護委員(新任)

井ノ上 浩之(大出)
友松 瑞豊(木下)
河手 仁(北小河内)

※敬称略

総務 産業

令和5年度一般会計歳入歳出決算認定

Q デジタル人材育成事業の内容は。

A プログラミング教室としてドローン教室に春、夏2回計45人、デジタル機器操作講座5回、計47人等を実施。



Q 固定資産税の徴収猶予の内容は。

A 農業事業者の病虫害による著しい被害による償却資産等の猶予。

Q 新規就農者育成総合支援事業交付金の内容は。

A 1経営体へ年間150万円の補助のほかトラクター、管理機等の機械補助も含む。

Q 道路境界立会委託料の内訳は。

A 土地家屋調査士の立会いが全79件中30件、未登記処理2件。

総務 産業

令和6年度一般会計補正予算(第4号)

Q 町制発足70周年記念事業、ロゴマーク委託の内容は。

A 横断幕等イベント関連事業や職員の名刺等に使用するマークの作成。



まちができて70年

来年度に向けて、事業が進められています。町民アンケートでどんな記念イベントが実施されるのか期待！

ココに注目！

Q ながた自然公園支障木伐採の内容は。

A きぬたの森から、ながた荘までの歩行者の通路を確保するため。

Q クマゾーニング管理実施計画のメンバー構成は。

A 専門家、県林務課、学校、区長等10人を予定。

熊対策

ツキノワグマの出没が増え、対策を検討しています

※ゾーニングとは「区別する、区画する」。

クマの保護を優先する区域と、農地や住宅地周辺など状況によっては排除も行うなど人間活動を優先する区域を設定する。それぞれに応じた対策を実施。



ココに注目！

現 地 確 認

総務 産業

9月11日(水)



役場庁舎裏駐車場 ソーラーカーポート設置工事



中原・中曽根 松くい虫被害林



農村公園駐車場舗装(福与公民館下)



下古田 北の沢川災害復旧現場

福祉文教

令和5年度箕輪町一般会計決算

- Q** 生ごみ処理機購入補助金（72万2,900円）。壊れた場合は、2回目でも受給できるのか。
- A** 5年経っていれば、2回目以降も補助を受けられる。
- Q** 老人クラブの推移は。
- A** 数に変化はないが、上層団体の役員をする人が減っているため、連合会から脱退して単独クラブになるケースが増えている。
- Q** ボランティア育成事業委託料（114万1,800円）の内容は。
- A** ボランティアセンターの運営、ふれあい広場の実施やボランティアの相談窓口等。
- Q** 病児・病後児保育の利用人数の推移とその理由は。
- A** 令和4年度の利用は290名。令和5年度は489名。令和4年度はコロナ禍で1部屋1名だったが、令和5年度は制限が緩和されて複数名受け入れ可能となったため。

Q 自殺予防対策「こころの体温計」利用数は。

A 令和5年度は年間利用者数が9,424名と多かった。ティッシュを配ったり、広報「みのわのみ」への掲載などにより、利用が増えた。

ココに注目！

学校職員の成り手不足も深刻。

- Q** 学校非常勤職員報酬の不用額が約1,000万円なのは何故か。
- A** 年度当初に支援員や給食調理員を募集したが応募がなく、採用できずに経過したため。
- Q** ナイトウォークイベント等委託料（約563万円）の内容は。
- A** 天竜公園のイベント進行、コース上の安全管理等。シルバー人材センターへのペットボトル設置委託料も含まれている。



福祉文教

令和5年度箕輪町介護保険特別会計決算

- Q** 介護認定を受けている人の中で、サービスを受けていない人はいるか。
- A** 要支援1から要介護5までの認定を受けている人が1,083名。そのうち66名が介護サービスを受けていない。サービスに繋がっていないか、お守りのつもりで認定だけ受けていると推察される。



福祉文教

令和6年度 一般会計補正予算(第4号)

- Q** 防犯カメラ設置の場所と数は。
- A** 木ノ下駅と伊那松島駅に1本ずつ。
- 今年度は灯油券を、より困窮度の高い世帯に。
- Q** 福祉灯油券の対象世帯と発送時期は。
- A** 住民税非課税世帯で、70歳以上の高齢者のみの世帯等、困窮度合いの条件に合致した方が対象。11月中旬に郵送予定。

ココに注目！

現地確認

福祉文教

9月12日(木)

- ・若草園・三日町保育園
- ・こども居場所拠点
(社会福祉法人「ふれあい」、一般社団法人「NAGANOからおすそわけ」)
- ・箕輪中学校駐車場予定地



若草園



NAGANOからおすそわけ

町政の
ここが
聞きたい！

一般質問

議員15人が町に
質問・提案しました。

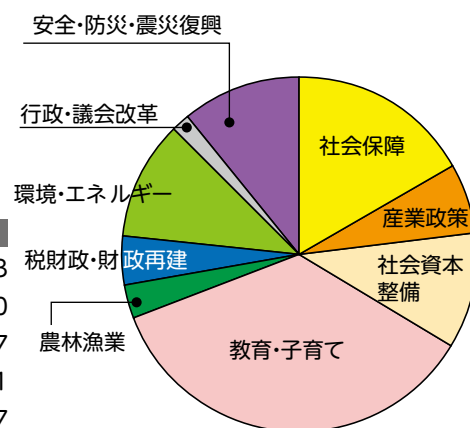


主な質問	議員	ページ
まちなかタクシー運行時間と曜日の拡充を	白鳥 真吾	8
箕輪中に“スポーツ観戦部”創設の働きかけを	金澤 幸宣	9
みのわBASEの利用状況は当初想定どおりか	中村 政義	10
小中学校の耐震化、長寿命化の遅れは	中澤 清明	11
乳幼児おむつ補助対象の拡大要請対応を評価	平出 広志	12
決算の箕輪チャレンジ達成度と町長の評価は	小出嶋文雄	13
インクルーシブ教育についての考えは	小口 智世	14
コロナ予防接種による健康被害が出ているが	中野 友美	15
みのわBASEの現状における課題は	入杉百合子	16
防災対策にキッチンカー活用は	寺平 秀行	17
災害時における福祉避難所の現状と課題は	北野めぐみ	18
被爆地・広島での平和学習の評価は	岡田建二郎	19
有機農法・自然栽培のエリア分けを	南 朋子	20
コミュニティスクールの課題は	上田 学	21
中曽根の産業用地開発中止の経緯は	荻原 省三	22

「あなたの関心事はどれ？」

9月議会の一般質問で、議員が取り上げたテーマを、分野ごと可視化してみました。
「教育・子育て」分野に多くの課題が?!

政策分野の内訳	質問件数(65件)
■社会保障 …………… 11	■税財政・財政再建 …… 3
■産業政策 …………… 4	□労働 …………… 0
■社会資本整備 ……… 7	■環境・エネルギー …… 7
■教育・子育て ……… 23	■行政・議会改革 ……… 1
■農林漁業 …………… 2	■安全・防災・震災復興 … 7



知ってる?

みのわまちのいいところ

やおとめすいろきょう 八乙女水路橋

西天竜幹線用水路が深沢川を越えるために作られた水路橋は、建設から約100年を迎えようとしています。コンクリート製の橋は老朽化が進み、安全面から、この秋とうとう車両通行止めになってしまいました。今はまだ、人と自転車は通れますが、補修は予算的にも難しく、後世に残すことが厳しい状況です。

箕輪町のいいところ、があったら教えてね。

✉ gikai@town.minowa.lg.jp

生活道路としてだけでなく、西天の農業資産として、また、町の人の心に残るふるさとの資産、移住者や旅行者にも人気の景観資産として残してほしいとの声が集まる水路橋。

「伊那谷のたからもの」が、またひとつ消えようとしています。



まちなかタクシー 運行時間と曜日の拡充を

しろとり しんご
白鳥 真吾 議員

町長 運転手不足などで現状は難しい



議員 運行時間の延長、土曜日の午前中も運行して欲しいという声が非常に多い。運行時間、曜日の拡充を。

町長 懇談会などで声はいただいている。タクシー事業者との確認の中では、運転手不足などで現体制の中では対応できないということもあり、現時点では理解していただくしかない。要望が地域の皆さんからということは話をしていく。

議員 運行開始から1年、これからまちなかタクシー事業に向けて声を聞く機会が必要である。要望などが出てくることも想定される。登録者、利用者を対象にしたアンケートの実施を。

町長 利用状況においては順調である。声の中では、拡大要望があることは承知をしている。アンケートをする必要はないと考えている。

もみじ湖 マイカー規制の今後は

議員 今年で3年目の実施となり、渋滞解消など一定の効果があつた。マイカー規制など10年20年と続けるのか、一定期間の状況を

みて終了するのか、現時点での考えは。

町長 今年実施をしてみないと来年度以降については申し上げられない。ブームは10年ほど続くと考えられ、来場者はいずれ減少してくると予想をしており、来場者数の動向を見ながら、現在の方法については考えていく。

みのちゃんバスの現状は

議員 町内公共交通の中で重要な役割を果たしている一つが、みのちゃんバスである。令和5年度の利用者数は延べ2万7,409人、前年度と比べ4,014人の減少となっており、要因はまちなかタクシーの運行と推測がされている。他に要因があるか分析がされているのか。数年の利用状況など現状は。

町長 10年前と比べると減少方向にあるのは事実だと思う。今回の減少については十分に分析ができていないが、まちなかタクシーの影響、半数は中学生の減少であると思う。今後どのように影響するのか考えていかないといけない。

議員 公共共通のあり方について、

現在の任期中にある程度方向をつけていくのか。

町長 1年や2年で大きく変えるということは、地域公共交通会議などを経なければいけないので考えていない。住民生活にどう影響があったのか、負担という面でどうなったのかということは、まちなかタクシーが1年経過した段階で検討したいと思う。

現行保険証継続の 要請を

議員 マイナ保険証について、全国18地方紙で行われたアンケート結果が公表され、1万2,007人が回答をして、そのうち現行保険証を残して欲しいという声が8割となった。県内では425人が回答をし、やはり8割の方が現行保険証を残して欲しいという結果であった。一方7月末現在のマイナ保険証利用率は11.13%となっており現行保険証を利用する方がいまだに多い。医療・介護現場からも現行保険証の継続を求める声が多い。マイナ保険証への不安や懸念を払拭するには現行保険証の継続が一番である。現行保険証継続を国に求めるべきでは。

町長 賛同できる部分もあるが、12月2日を直前に控えており進めざるを得ない。現時点で元に戻すことは少し無理だと思う。国民の声を政府がどう判断するかということにかかっている。



もみじ湖周辺の紅葉

箕輪中に“スポーツ観戦部” 創設の働きかけを

かなざわ ゆきのぶ
金澤 幸宣 議員

教育長 斬新でユニークな発想。箕輪中に紹介



議員 運動系部活は、自らが競技することが基本。観戦することに特化した部活はない。「スポーツ観戦でハラハラドキドキすると脳内では幸福に反応する領域が活性化され幸福感が高まる」との研究結果を早大などのチームがまとめ、スポーツ観戦が幸せや生活の質の向上に繋がる可能性が「科学的に裏付けられた」と発表した。大規模データを基にスポーツ観戦の経験と日常生活の充実感との関連を分析し、観戦しなかった人よりも生活充実感が明らかに高まったとの調査報告をした。町教育委員会から箕輪中に“スポーツ観戦部”創設の働き掛けをすることを提案する。



SHO-TIME観戦で超満員の
ロサンゼルス・ドジャーススタジアム

教育長 研究論文を読んだが科学的なデータに基づくものとして注目されている。“スポーツ観戦部”創設は、斬新でユニークな発想だ。効果も含め箕輪中に紹介したい。教職員数や施設面で部としての運営の可否は中学校に委ねる。

議員 2028国スポのフェンシング競技に向け、箕輪中スポーツ観戦部にもひと役担ってもらい、フェンシング観戦を通じて底辺からのボトムアップで町全体に関心拡大の醸成を図ればどうか。

教育長 フェンシングが盛り上がることは大変ありがたい。スマートフェンシングを活用した普及活動や初心者に興味を持って貰うようルールや審判用語などを説明する観戦リーフレットの作成を進めている。来年度以降地元実行委員会も発足予定。国スポに向けフェンシングの気運が高まればありがたい。

「はじめよう!ふるさと箕輪学」 冊子改訂の考えは

議員 発刊後まだ6年だが、時代変化の速度は予想以上に速く掲載内容にアンマッチが生じている。改訂の必要性は。この冊子の存在を知らない町民が沢山いる。まずは、発刊以降の配布状況・在庫部数は。

教育長 刊行部数:5,000部。全中学生に配布後6年間は新1年生に配布他、関係機関・一般向け合わせ約3,000部配布済、現在在庫部2,000部。

議員 町の振興計画は非常に足はや。全ての施策掲載の必要はないが、重要施策は掲載すべき。構想から発刊まで2年くらい掛かると推測。予算計上も必要であり町長の認識は。



「はじめよう!ふるさと箕輪学」
箕輪町を知る資料集として
2018年に発刊された

町長 変化が目まぐるしい時代で10年経つと改訂が必要。記載内容が現在にマッチしない部分は変更が必要だが少し時間を置いて冷静な視点で判断が必要。10年経過後の改訂を考えている。

議員 改訂版発刊時に、DX化に併せ二次元コード添付の必要性は。

教育長 時代に合った機能を入れることは大切。令和10年頃の改訂時にさらに進んだ機能が入る可能性もある。時代に合った解かり易く興味・関心が高い冊子になるよう考えてゆく。

議員 改訂決定時から逆算して今の在庫が無駄にならないよう、冊子の存在を知らない町民に向け有効に使ってもらえれば。

分団消防車両に「広告」を 受け入れる考えは

議員 全国には企業などと連携して地域の安全・安心を支援し財政面でも消防活動の充実強化を図る目的で消防団/消防署の車両に広告を載せている例がある。賛否両論あり慎重に検討すべきだが、箕輪町として広告を受け入れる考えは。

町長 質問を受け初めて承知した事例。毎日運行されない、夜間活動が多いなど効果は疑問。可能性は役場公用車の方が利用価値があるのでは。掲載可能か研究する。

その他の質問

- 町職員の人材育成について
- 直近のカメムシ発生について

みのわ BASE の利用状況は当初想定どおりか

なかむら まさよし
中村 政義 議員



町長 想定より多くの方に利用されている

議員 公共施設の利用状況みのわ BASEの利用状況については、当初想定どおりか。

町長 4ヶ月近くが経過、9月1日現在で延べ1万9,346人の方に来館をいただいた。1日平均150人、夏休み期間中は200人を超える利用者数。学習室の利用登録者数は698人で、区分は多い順に中学生が272人で約40%、一般の方が184人で約26%、高校生が174人で約25%、小学生が57人で8%となった。登録者の居住地別では町内の登録者が610人で87%、伊那市・辰野町・南箕輪村などの近隣市町村の方が88人で13%。利用者は1日平均約30人となった。会議室の利用は、福祉センターを利用して一部の団体などを中心に116件、1日1件程度の利用で、まだあまり利用は少ないが、全体的には当初想定していたよりは多くの方に利用していただいている。一方で課題は午前中の活用で、当初高齢者を中心とした居場所という意味合いを持っていたが、ああいったイメージの施設の中で使いにくいということもあるのかもしれない。そういった内容について、考えていきたい。

議員 公共施設の利用状況、役場庁舎北側駐車場のソーラーカーポート等整備工事及び太陽光設備工事が始まり、役場駐車場は混雑が続いている。この対応に対する町長の考えは。

町長 庁舎周辺の事業、現在実施中で北側駐車場は立入禁止。来庁される方、また関係の皆さんには大変なご迷惑をおかけして申し訳ないというふうに思っておりますが、3月までに完成させたい。そういったことから、職員駐車場の拡大であるとか、日中役場で行う大人数の会議の際には、町の保育園西側駐車場を利用させていただく等の対応をしている。朝夕の中学生の送迎等で混雑の状況は見られますが、何とかしのいでいきたい。

議員 駐車場が満車でとても困ったという町民からの声も届いているが、駐車場が満車の場合の対処の仕方、案内等は行われているのか。

町長 限りある施設の活用であるので、スムーズな駐車ということについては、職員が出向くなどして対応。

議員 ソフトボールの専用球場について、ソフトボールは箕輪町でかなり盛んなスポーツであった。早起きソフトには一時100チーム近い参加があったが、現在は20チームそこそこでとても寂しい現状です。専用球場をつくり、新たな選手を掘り起こすきっかけとしたいかどうか。

町長 現在町には、番場原の第1・第2・上古田・沢の4ヶ所に運動場があり、利用状況は夜間や休日につきましては、ほぼ予約で埋まっている状況、そういった中で専用球場という話ですが、ソフトボールについては今の利用者の状況

は、確かに壮年からハイシニアまで非常に強いチームになっていて、今年も3チームが全国大会に出場する状況ではあるが、こういった形での専用球場は考えていない。上伊那全体の中でどう考えるかという問題はある。

小中学校の現況について

議員 夏休み寺子屋教室の実施、今回15区のうち14区で実施された。私は地元松島区・木下区・沢区・三日町区・福与区の5つの区を見学した。内容は様々でしたが、どの区も1年生から6年生まですべての学年が参加していて、普段なかなかできない学年を超えた関わりができていたと感じた。この夏休み寺子屋教室の実施についての所見は。

教育長 学習支援に加え分館ごとに特色を出し、地域に伝わる行事の準備や体験、防災学習といった工夫した内容を展開。地域の大人と子どもと一緒に活動することで、地域の絆が深まる良さがあって大変有意義な取組だと思う。



松島区夏休み寺子屋教室
制作 紙とんぼ

小中学校の耐震化、長寿命化の遅れは

なかざわ きよあき
中澤 清明 議員



町長 長寿命化はこれから、、計画的に



議員 令和2年12月に策定された箕輪町学校教育施設長寿命化計画は進んでいないように見受けられる。最近の地震の発生状況からは対策が急がれる状況である。①長寿命化計画によると旧耐震基準建物21件中耐震診断が済んでいるのは4件、耐震補強済みは3件となっているが、その後どの程度進んだのか。②長寿命化対応とした50施設の取組み状況は。また劣化が著しいと診断された施設へはどう対応してきたのか。③長寿命化が遅れていることについての所感は。④耐震化、長寿命化の今後の取組みスケジュールは。

町長 ①55年以前の旧耐震基準の建物の耐震診断は全て済んでいる。また耐震改修していないものはない。②補修して延命させるという意味の長寿命化事業が遅れたのは事実だが、そのことで学校にマイナス要素があるわけではない。劣化についても使えないということではない。③国との関係の中でこの計画を作らなければならなかったが、これに沿って長寿命化するのは難しい。④町の大規模施設の長寿命化が終わってくるので財政状況を見ながら優先順位をつけて取り組みたい。

北小旧体育館整備について

議員 北小旧体育館の屋根が真っ赤に錆びて腐食が著しく進んでいるが。

教育長 どうにも耐えられない状況まではいっていないが、最低限必要なことはしていかなばと考えている。

議員 児童数が減る中で北小に2つの体育館は不要との議論もあると聞くと、学校でも社会体育でも都合よく使われており、必要な体育館と考えるが町教委の考えは。

教育長 2つの体育館を維持していくことの必要性については児童数の減少が見込まれる中では難しい。当面現在の利用を継続したいと思っているが、いつ頃まで利用するのか検討の時期に来ている。

八乙女水路橋について

議員 水路橋の安全確保と今後の扱いについて①安全確保のための補修工事をする考えはあるか②水路橋の側道や下部を通過する道路の安全確保をどうするか③今後については取り壊しの方向か。また取り壊しの時期はいつ頃か。

町長 ①躯体自体の劣化が顕著で補修工事や橋の架け替えなども検討したが費用対効果からも現実的でなく考えていない。②地元の生活道路でもあるので安全対策は十分対応していく。八乙女区の対策委員会を中心にお話しさせていただく。③取り壊すかどうか、その時期についてはまだ検討していない。

議員 ①10月から予定通り全面通行止めとするのか②代替道路が使える時期は③代替道路が出来るま

では現行の農耕車の通行を認めて欲しいと言う地元区の声を受け止めて欲しいが。

町長 ①歩行もしくは自転車以外は通行止めをお願いしたい。②代替道路が使える時期は未定。③町としては何より安全性を確保するのが仕事。ご理解を深めるための話し合いをさせていただきたい。

議員 ①地元区には水路橋の永久保全を願う声があるが、歴史的遺産或いは遺構としての価値についてどう考えるか。

②保存について広く町民の声を聴く考えは。

町長 ①歴史的な遺構としての存在価値、文化的価値は信州大学の先生にも検討していただいたが、残存させる価値があるとは思われない。②ある程度結論が出ている話なので難しいが検討させていただく。



劣化が進みコンクリートが落下し、鉄筋がむき出しになった水路橋下部

その他の質問

- 決算について重要施策としたゼロカーボン、DX推進、ジェンダー平等の成果は?
- 障がい者グループホームの行方と沢町営住宅跡地利用

乳幼児おむつ補助対象の 拡大要請対応を評価

ひらいで ひろし
平出 広志 議員



町長 拡大には議員や他からの声を反映



議員 乳幼児おむつ用品購入補助の対象外となった、4月1日以前に生まれた子や、すでに1歳を迎えた子の保護者からは、全く補助の対象にならないのは悲しい等の声が寄せられている、担当課、理事者に対象児の拡充を要請したところ、今回の補正で早速対応され、保護者の切実な声の理解に感謝する。

町長 対象児の範囲は制度上どこかで切らざるを得なかったが、拡大の要請はそのとおりであるので今回拡充をする判断をした。新たな対象児の保護者には直接申請書を送付する予定。

議員 おむつは子どもの成長にあわせて購入するが、成長により使わなくなったおむつを回収、配布する「おむつ用品ゆずりあい事業」を町で実施し、おむつの有効活用やSDGsの取り組みとして提案する。

町長 子育て世帯の負担軽減等で非常に優れた発想であるが、非常に時間と手間がかかる等の課題もある。町全体での実施はすぐには難しいが、まず子育て支援センターや保育園での活動はこども未来課と保育園で研究させていただく。

危険な特定空家の 公費解体を

議員 倒壊等著しく危険となる「特定空家」の中でも、北小河内公民館東にある旧製糸工場建物は390㎡を超え、すでに2階屋根が崩れ落ちており、台風シーズンを前に崩



北小河内区の大規模空家

れた廃材が周辺住宅に飛散する危険が迫っている。町の行政代執行の手續きにより、速やかな解体を要請する。

町長 行政代執行は一定の手續きを経て行すべきものであるが、町として公費解体を想定される物件は、今回の北小河内の物件と木下の2件が検討課題である。北小河内の建物は、風雨にさらされ壊れてきているので、緊急の問題である。

健康アカデミー事業の 継続を

議員 平成17年度からスタートし、現在19期目を迎えた、「みのわ健康アカデミー」事業の成果は。

健康推進課長 事業は、健康運動指導士、保健師、管理栄養士等の専門職がサポートにあたるのが強み。事業の後に体重が平均3kg減少、腹囲が平均4cm減少、高血圧の改善、体力テストでも全項目で成績が向上している。

議員 来年度、副学長の信州大学、寺沢教授が退任するが来年度以降も「健康アカデミー」事業の継続を望むが、今後の方向性は。

町長 「健康アカデミー」事業は町の

看板事業であるが、参加者が減少傾向にある。継続も一案だが、様々なニーズが増えており、継続しながら、メニュー化も考えている。

議員 「元気センター」の休憩テラスは利用者がなく、空きスペースとなっている、運動マシン等が3台は設置可能であり、改修し、健康推進環境の強化を。

町長 屋内施設への改修はかなりの費用がかかるが、来年度事業のなかで検討する。

国スポにむけてフェンシング 選手、指導者の強化を

議員 28年国民スポーツ大会で、箕輪町はフェンシング会場となる。選手及び指導者の強化が急務である。現在まで熱心に指導されている指導者の処遇改善も必要では。

町長 県のスポーツ専門員として1名が指導を開始し、中学の部活動にも職員を配置している。県の補助を活用し有力コーチを招聘したい。北信越大会の好成績も指導体制が十分働いている結果である。指導者の報酬、指導手当等が少ないことは承知している。必要なものについて検討したい。



全国ジュニアエペ・フェンシング大会

決算の箕輪チャレンジ達成度と 町長の評価は

こ い で じ ま ふ み お
小出嶋 文雄 議員

町長 評価は順調であると考えている



議員 令和5年度決算を省みて、振興計画後期計画の箕輪チャレンジ20の取組み状況と達成度の町長の評価は。

町長 チャレンジ項目として重点的に取り組んでいる。

一つ目は人口減少に即した暮らしへの転換。住民満足度75%以上で、全体としては順調な評価だというふうに考えており、町長への手紙、まちづくり地区懇談会などを通じて、町政への理解の促進とか意見の反映をしてきた。セーフコミュニティの取組に加えて、くらしの安全安心課を設置、新たな条例制定に向かって進めている。

二つ目は、将来の暮らしやすさを守る人口規模の維持であり、今年度の4月は2万4,378人と目標値を下回っている状況である。様々な子育て支援策を講じ、今年度こども計画の策定を進めている。5年度にまちなかタクシーとして運用が始まった。農業、製造業・工業についても一定の評価である。

課題として、地域の中で新たなパワーアップするような事業が見つからない、地域内資金循環チャレンジは具体的な事業としてなかなか進まない状況。ハッピーサポートは、結婚新生活のスタートアップはできたが、結婚に関わる部分は十分対応ができていない。

区からの要望事業の実施率は

議員 決算における各区からの要望があった生活基盤が農業インフラ、安全・安心のための事業などの実施割合は。

企画振興課長 防犯街灯、道路反射鏡、消防施設関係は、要望に対して、採択率、実施率とも100%である。集会施設等の改修補助金は、予算化率は90.5%、実施率は89.5%である。土地改良事業は、採択率が34.9%、実施率が100%である。道路の補修、道路の改良事業は、予算化率56%、実施率96.4%である。区からの優先順位に沿って実施をしており、例年の規模を維持していくことが必要だと考えている。

地域介護の進め方

議員 2025年にはいわゆる団塊の世代が、全員75歳を迎え、介護を必要とする人たちの増加が懸念されるが、介護の実態と課題は。

町長 ①地域包括支援センターの実態と課題

介護の必要な人と支える65歳未満の年代層との乖離が非常に大きくなる。地域包括支援センターは住み慣れた地域で人生を全うするための企画段階から運営段階まで行う最も基礎的なシステムである。町が直営する機関で、町内の介護保険事業者が適切に運営されるよ

うに、医療、介護、福祉関係機関と連携調整をしている。課題は、組織としての人員体制をどう考えていくかである。保健師、介護福祉士、主任介護支援専門員、ケアマネージャーをどのような形で配置をして高齢者の支援を行っていくかということであり、現状は常勤の職員では賅い切れない状況があり、定数に達していない状況であるが、外部委託ではなく直営でいく方針。

②総合事業の実態と課題

いわゆる元気高齢者のフレイル予防の効果と、それ以外に要支援1レベルの方の100歳体操、サロンとか、いきいき塾とかの効果が十分働いていて、介護認定率が低く抑えられてきたことは成果でもあるが、今いきいき塾などの利用者が減少して、介護の現場でいきいき塾の事業を受け入れていく措置がなくなってきたことが非常に問題である。

現状の人手不足と利用者の減というダブルパンチの中で、今以上のことを実施するのは非常に難しい現状である。

議員 介護の人材不足の問題は介護サービスを受ける側も介護保険自体にも影響が。

町長 専門職が専門職としてできる限りのことをしていただき、それ以外の事務をできるだけ排除していくことが必要である。専門職が離職しないような組織でなければいけない。

インクルーシブ教育についての考えは

おぐち ちせ 議員
小口 智世 議員



教育長 各学校のできることをやっていく



議員 小・中学校における、通常学級以外のクラス数と在籍人数は。

教育長 小学校は、全体で特別支援学級が15学級、在籍児童数73名。中学校は、特別支援学級が7学級、在籍生徒数51名。中部小学校にはLD等通級指導教室が2学級、26名（サテライト教室として北小学校に1学級、5名）。言葉の教室が1学級、15名。日本語教室が1学級、13名。昨年度から中学校にもLDと通級指導教室が1学級、10名。日本語指導教室が1学級、6名。

議員 生徒数は減っているのに特別支援級が大幅増えている。インクルーシブ教育は、障害の有無などの様々な違いを超え、同じ環境で一緒に学ぶ教育を指す。先日、ドキュメンタリー映画「みんなの学校」の舞台である大阪市立大空小学校の初代校長、木村先生の講演を聴いた。その学校では、皆が一緒に学び、障害という言葉を使わず、不登校児童がいない。木村先生は、1人の生徒が、教室に入れないでいるもう1人の生徒の手を引いている写真を見せ、「多くの人は、『健常者が障害者の世話をしている』と見て、健常者の親が『うちの子の授業はどうなる?』と文句を言

うが、手を引いている子が相手から学べるチャンス。人は皆違うことを自分で学ぶ。」「発達障害はレッテル。来られない子がいたら、学校がスーツケースを風呂敷に変えればみんな来られる。」「学校が捨てるべきものはヒエラルキー、同調圧力、前例踏襲。」と話してくれた。木村先生の話から、その地域では、どうしたらうまくいくかを自分で考える大人が育ち、差別が生まれなくなり、尊重された経験から地域に戻ってくる好循環が生まれていると感じた。公立の大空小学校で実践されているインクルーシブ教育についての考えは。

教育長 木村先生の話は共感するところが多いが、それをそのままという訳にいかないの、今やっていることを基に各学校のできることをやっていく。特別支援級は、保護者の求めに応じて増えてきている面もある。

学校に行っていない 児童・生徒の健康診断は

議員 健康診断を受けられていないという保護者の声があった。学校に入れなくて健康診断が受けられない場合の対応は。

教育長 学校保健安全法に基づき、毎学年健康診断の実施が義務づけられている。検診の日欠席した場合、家庭で受診してもらえよう受診依頼通知を渡している。

居場所拠点事業の 進捗状況は

議員 今年度からの居場所拠点事業について、進捗状況は。

町長 先般公募と審査を行い、2事業所に決定した。1つは「社会福祉法人ふれあい」。木下に住宅を借り、学習サポート、進路・育児相談や食事の提供を行う。もう1つは「一般社団法人NAGANOからおすそわけ」。松島に住宅を借り、保護者への相談支援、学習支援や行政・学校との連携を行う。

議員 たびたび議題になる中間教室について、登録人数などの現状は。

教育長 令和5年度の月平均利用人数は、小学生延べ7.5人、中学生延べ49.67人。

議員 中間教室利用経験者にアンケートをお願いした。利用した理由は「したい活動（チョーク遊び、卓球、白玉づくり）ができるから」など。利用しなかった理由は「建物が古くて居心地が悪い」など。どのような中間教室がいいかという質問には、「もっと調理の活動をしたい」「もう少し勉強を教えてくれる体制が整っているといい」など。勉強したくても、思ったようなものが返ってきていない。居場所拠点事業2ヶ所がニーズに合うなら、中間教室の機能を持たせては。

町長 全く考えていない。中間教室は、居場所ではなく、あくまで学校教育の一貫。



コロナ予防接種による健康被害が出ているが

なかのともみ
中野 友美 議員

町長 社会防衛上の措置、副反応も想定



議員 令和6年9月6日厚生労働省による疾病障害報告は、疾病認定8,049人、死亡認定799人もいる。一方で、インフルエンザ予防接種による死亡認定は、47年間で25人。この差をどう捉えるか。町の状況と考えは。

町長 健康被害認定は2人、相談中が1人。予防接種は、社会防衛上重要な措置であり、副反応による健康被害が起きることは想定をしている。相談を受け、町予防接種被害調査委員会を開き、県を経て、厚生労働省で審査となる。健康被害状況の把握・確認の意味でも、町の窓口相談をして欲しい。

議員 町には、ワクチン接種後数日で亡くなった方、体調不良に悩まれている方もいるが相談していない方が多い。予防接種を事業として行なうならば、予防接種健康被害相談窓口や、救済制度相談窓口を同時に置くべきでは。

町長 健康推進課が相談先だが、明確な設置は検討する。相談に対応できる職員の育成を大事にした



秋から始まる予防接種と情報の公表は

議員 新タイプのコロナワクチン「次世代mRNAワクチン（レプリコン）「コストイベ筋注」接種が始まる。開発国はアメリカ、大規模な治験はベトナムなどで行われたが、どの国もこの薬を承認していない。日本だけが承認したワクチンである。全国有志医師の会、日本看護倫理学会も安全性に対する懸念の声明を発表した。このまま町が定期接種を推進することに不安をもつ。対象者に、どんな内容で通知するのか。副反応や、認定事例も公表するべきでは。

町長 被害認定件数は、町のホームページに掲載する。10月上旬に予防接種通知を案内する際、接種後の注意、救済制度を示していく。副反応など、国からもらえる材料、知見等も含めて出来る限り町民の皆さんに知らせ、「接種については自分の判断で」ということになる。

議員 本人の判断に任せるならば、本来は補助金は要らない。自分で判断できる情報を中立的に提示していただきたい。

子育てサポート 産後ケア事業の拡大は

議員 産後母親の心身の不安定な要因は様々だが、心と体のケアのほか、家事の要望が高い。産後ケアの事業は、助産師のいる施設や

クリニックが対象だが、この事業に調理・洗濯など家事のケアを拡大できないか。

町長 目的は母親の体調管理や休息で、育児相談や授乳指導など。家事支援は入っていないが、別の「養育支援訪問事業」で、保健師やヘルパーが訪問し、家事支援をする支援事業で対応している。



煩雑さを極める 介護施設入所の手続き

議員 町内外の特養入所者163人、待機43人。今後、老老介護も増すなかで、現在ある入所の手続き書類をみても理解できない。役場の中で幾つもの窓口を渡り歩かなければならない体制改善や、施設入所までのステップなどを案内するコンシェルジュの設置が必要では。

町長 町の包括支援センターをいかに機能させるかの問題でもある。人的な配置、職員の育成に力を入れる。

議員 福祉課だけでなく、コンシェルジュ役に対応できるような個人を外部に置くなども検討を。

その他の質問

- 中部小学校駐車場増設と通学にみのちゃんバス利用を
- みのわテラスにドッグラン併設を

みのわ BASE の 現状における課題は

いりすぎ ゆりこ
入杉 百合子 議員

町長 午前中の利用促進が課題



議員 4月オープンした町防災交流施設みのわBASEの利用状況は。

町長 9月1日現在延9346人の来館。一日平均150人。学習室登録数698人で、予想を超える状況。1階のスペースは、かなり中学生に活用されているので、居場所としても意義あると思っている。課題は、午前中の利用促進をしなければいけないが、全体としては順調と思っている。

議員 来館者の40%を占める中学生の利用はマナーの面で大変残念な事例が目立つ。町長の所見は。

町長 町の公共施設とは違うので、既成概念にとらわれない使い方をして欲しいが、目に余る行為があれば指定管理者や町職員が注意をさせていただく。

議員 学習室に入りきれない生徒を急遽会議室を臨時使用させるのか。

町長 みのわBASEの会議室は利用上会議室とあるが、利用形態をどうするかは十分参酌できる範囲で実施すればよいので、学習スペースとしての活用に異存はない。

議員 トイレ内において、不適切な使用をした事例が発生している。れっきとした管理者のいる中での事案について今後の対応は。

魅力発信室長 利用マナーについ

ては施設の維持管理委託者から、便器にトイレットペーパーを丸ごと捨てられる、天井に水浸しのトイレットペーパーを投げつけられる、駐車場でのいたずらやゴミのポイ捨て等の報告を受けている。箕輪中学校では全校集会での啓発、教員による施設の巡回など実施し、教育委員会とも連携をとり、改善に努めている。施設としては、施設利用の注意事項の掲示による啓発、家具の配置換えにより死角をなくす、数カ所の防犯カメラの設置と新たにトイレの入口や北側出入口付近への増設を準備している。施設周辺を安全安心パトロール隊の巡回ルートとして箕輪町交番でも見回っている。

議員 みのわBASEのカフェの運営が他自治体の業者なのはなぜか。

魅力発信室長 オープン当初短期間で準備不十分だったため、業者に施設と一体管理をさせたが、今後は現状を踏まえ、町内の事業者などにヒアリングを実施し、どのような形でカフェ運営ができるか研究したいと思っている。

議員 みのわBASEは防災交流施設。災害時に避難場所として、炊き出しの機能は十分対応可能か。

町長 炊き出しについては、中で実

施をする想定はしていない。外で十分対応できる場所を取っており、非常用ガスパル具、LPガスの非常用発電機、受水槽の設置で有事の際の水利用可。また、太陽光発電と蓄電池で災害時の対応ができる。

町内の水道水汚染はあるか

議員 がん性などの毒性が疑われる有機フッ素化合物「PFAS」について、健康への影響が心配されるが、町内の水道水汚染は大丈夫か。

水道課長 PFASの中で毒性が心配されているPFOA、PFOSは、環境中での残留性や健康への影響から製造や輸入が禁止されている。町では水道用水企業団で行った検査で不検出。心配を安全安心に変えるためにやった、自己水源の4カ所の（両物質の）検査も8月に実施し、結果が出次第ホームページに掲載する。

大型事業の工事の進捗状況は

議員 町民体育館と役場駐車場の太陽光パネル設置工事の進捗状況は。

町長 町民体育館と武道館の工事は始まったばかりだが、2026年3月までの工期は対応できると考えている。役場周辺の工事は現時点で遅れはない。

その他の質問

- 酷暑対応について
- 困難な女性支援への体制について



利用盛況のみのわBASE

防災対策にキッチンカー活用は

てらだいら しゅうこう
寺平 秀行 議員



町長 事業者に協力をお願いしたい



議員 先日、ある事業者からキッチンカーを保有し、災害時に現地で協力したいという話を聞いた。箕輪町の防災対策は、町が被災した場合の対応に重点を置きがちだが、現実的には他地域での災害に対する支援が必要だ。その際、町内の民間の力、特にキッチンカーの利用を検討するべきではないか。

総務課長 避難所での生活が長期化し、特に寒冷期の場合、温かい食事へのニーズが非常に高まる。能登半島地震の際には、長野県からの要請で県内の8つの事業者が現地に行って支援を行った。キッチンカーの台数は年々増加しており、災害時にも有効に活用できると考えている。町としても、町内のキッチンカーを持つ事業者に災害時の協力を積極的をお願いしたいと考えている。

企業誘致で 産業用地確保を推進

議員 進学や移住を希望する人々の働く場所を確保するために必要不可欠である。企業誘致は地域経済の活性化や税収の増加が期待できる。産業用地の確保について、課題と今後の見通しはどうか。

町長 産業用地の確保は町の目標であり、農業と商工業のバランスの取れた産業構造を目指している。現状では希望する企業の立地条件に合う物件が少なく、産業用地が不足している。企業の立地条

件として、空き工場は1,000平米程度、用地は5,000平米から2万平米程度が求められている。立地希望が多い理由として、国内誘致の傾向や災害に強い地域選び、関東圏と中京圏へのアクセスの良さが挙げられる。町内企業の移転希望も多く、税収に大きな影響がある。農業振興地域の手続きが遅れるため、行政が積極的に関与する必要がある。

企業流出をどう防ぐ

議員 設備更新や技術革新により設備投資意欲が高まる中、箕輪町内の企業が広い工業用地を求めて他の自治体に流出するのは問題だ。町長の考えは。

町長 企業の流出を防ぐためには、広い工業用地を確保し、企業に有利な立地条件を提供することが必要である。箕輪町は中央道へのアクセスが良く、立地条件に優れている。行政は5,000平米以上の産業用地取得に対し30%の補助を提供し、固定資産税の免除・減免制度も設けている。商工観光課の相談員が企業と接点を持ち、企業動向を注視している。企業の要望に応えるため、土地利用の課題を解決しながら対応を進めていきたいと考えている。

ICT教育の成果と課題は

議員 ICT教育の事業の目的として「主体的、対話的で深い学び」が掲げられている。ICT教育の成果と今後の課題は。

教育長 令和5年度には「箕輪町教育DXセミナー」を開催し、ICT教育機器の活用が事業改善に結びついている状況を公開した。中学校の教室にはホワイトボードや全画面对応の大型提示装置を導入し、授業の幅が広がった。学校情報配信アプリ「C4th Home&School」を導入し、通知配信や欠席連絡の自動化で教職員の負担を軽減している。全国学力・学習状況調査の結果からも、子供主体の授業づくりで成果が上がっていることが確認された。ICT教育の質が向上し、町内全小中学校が文部科学省からリーディングDXスクールとして認定された。今後の課題としては、令和7年度以降の1人1台端末更新をスムーズに実施するための検討が必要であり、県のGIGAスクール会議の情報を元に対応を進める予定である。

災害時における 福祉避難所の現状と課題は

きたの
北野 めぐみ 議員



町長 一般避難所の福祉的な対応も検討



議員 元旦に発生した能登半島地震では、福祉避難所において多くの問題が発生し、十分に機能していない事態が生じた。箕輪町においての福祉避難所の現状と課題は。

町長 町では福祉避難所として指定している7つの施設と、協力要請している町内外の5つの施設がある。ただ、災害発生時に全ての要支援者を受け入れることは現実的に無理である。今回の能登半島で起きた状況等をつぶさに勉強させていただき、現状が対応できる状況になっているのかどうか確認する必要があると感じている。

議員 防災意識の向上を図るために、各区で行われている区民運動会の中に、防災に関係のある種目を入れることも、一つのきっかけになると思う。町主導による町民が参加できる防災フェス、防災運動会などの導入を提案するがいかか。

町長 この提案は非常に良いと思う。区民運動会には子どもや若い皆さん、高齢者の皆さんも参加している。競技の中に防災にかかわる種目を入れていただくのはよいと思う。区長会等に提案や情報提供をさせていただきたい。

薬を過剰摂取する オーバードーズの問題の 現状は

議員 いまや社会問題となっている医薬品の過剰摂取をしてしまうオーバードーズの問題について、町としてどのように捉えているか。

町長 この問題について、町としても全くゼロということはないと思う。この地域においてもそういった課題があると認識している。

議員 オーバードーズ問題は10代に大きく広がるとともに低年齢化しつつあると言える。そこで、小中学校におけるこの問題を防止するための教育の状況は。

教育長 中学校を中心に、薬物乱用防止教室を定期的に開いている。小学校においては、5年生が「お薬教室」を行い、医薬品の過剰摂取について学習している学校もある。また、薬を服用する回数が多い子供については様子を見たり声をかけたりして、日常的な取り組みもしている状況にある。

議員 オーバードーズ防止のための若者や女性への啓発、また、相談窓口の開設を要望するが、町の考えは。

健康推進課長 悩みの相談窓口として健康推進課において保健師が相談に対応している。また、困りごとに応じて様々な相談窓口を設置している。啓発については薬物の乱用に苦しむ方のゲートキーパーとなるよう薬剤師会とも連携を図ってまいりたい。

子どもの視力低下防止 の取り組みの状況は

議員 文部科学省の小中学生を対象とした調査によると、2年間でおよそ1割の子どもが新たに近視となったことがわかり、特に学年が低いほど新たに近視になる子どもが増える傾向が見られた。町として児童生徒の目の健康・視力低下予防にどのように取り組んでいるか。

教育長 学校として視力低下につながる生活の改善について学校保健委員会で意見交換をして保護者が一緒に考える機会を設けたり、保健室前の掲示物やプリントを使ってゲームのやり過ぎによる視力低下の注意喚起などを実施したりしている。

その他の質問

- インクルーシブ教育推進の現状と課題は
- 特別支援学級における正規教員の配置の現状は
- 様々な障害を持つ児童の特性に合わせた教育の対応は



被爆地・広島での 平和学習の評価は

おかだ けんじろう
岡田 建二郎 議員

教育長 参加者の学ぶ姿勢に感動した



議員 箕輪町として初めて取り組む広島での平和学習には、25名の小中学生が参加し、保護者や教職員も帯同いただいた。全体の総括は。

教育長 8月6日の平和記念式典の厳粛な雰囲気に参加者は感じ取ってくれた。原爆資料館、平和記念式典、子ども平和の集いなどに参加したが、子どもたちが熱心に学ぶ姿に感動した。

町長 参加者は応募してきただけあってとても熱心だった。8月6日の広島という特別な空気感は、現地でないと感じられず、非常に優れた取り組みだと感じた。

議員 遠い昔の話としてでなく、自分事として未来の社会のありように繋げることが大切。町内での平和事業にもフィードバックさせていくべき。

教育長 平和学習について報道された後、町民から多くの反響があった。原爆ドームの絵画が町に寄贈されるなど、既に広く町民を巻き込んだ事業となりつつある。報告会に限らず、各学校でも感想を共有する機会を予定していると聞いている。



教育委員会に寄贈された絵画「原爆ドーム」

学校施設整備と体育館の エアコン導入について

議員 校舎玄関の段差解消など、令和7年度末までに完全バリアフリー化するよう文科省から指針が示されている。各学校の課題を聞き取りしても、段差の解消は喫緊の課題。大規模改修を待たずに整備すべき。

教育長 今年度長寿命化計画の見直し作業がある。改修でなくスロープの設置等で対応が可能なところもあるので、課題を精査しながら対応していく。

議員 近年の夏の暑さから、授業や部活だけでなく、学校行事や社会体育、防災の面からも体育館のエアコン需要は高まっている。校長や教頭からも体育館の空調整備の要望が高いと聞くと、エアコン導入の見込みは。



教育長 体育館の長寿命化計画が前提となるが、国庫補助などを見極めないと難しい。

町長 教育委員会からの要望は承知している。必要性も高いと感じているが、国の財源措置が乏しい。国民スポーツ大会の開催に向けて町民体育館などは整備するので、効果と国の動向を見ながら対応していく。

森林ビジョンの 具体化について

議員 箕輪町の森林ビジョンはかなり稀有な計画となっている。担当課の任務が膨大だが、専門的な知見を有した職員配置が不可欠と思うが担当課の人的補強は。

町長 15地区の個別計画の立案から進捗管理まで、一般職員では対応できない。林政アドバイザーとして採用するか委託にするか研究し、来春までには補強したい。

議員 松くい虫被害が拡大している。被害に遭う前に資源として活用すべき林分を見極める必要がある。長田地区の県道沿いは民家も近いので早急な対応を。

町長 大変な被害が拡大している。樹種転換・伐倒燻蒸で対応してきたが、方針を再検討する。ながた自然公園一帯はリニューアルを検討しているが、県道沿いは安全面を考慮し、前倒しで早急に処置する。



住宅やライフラインに近いアカマツ林
(ながた自然公園)

有機農法・自然栽培の エリア分けを

町長 エリア分けは理想的

みなみ ともこ
南 朋子 議員



議員 慣行農法の従事者にとっては、雑草などが迷惑になるが、有機・自然栽培をされる方にとって雑草は、緑肥や草マルチになり、慣行農法の農薬がかかることのほうが困る。いっそのこと、地域計画の目標地図に有機・自然栽培のエリアを設けては。小規模な有機農業者・新規就農者も参入しやすくなると思うが。

みどりの戦略課 町では環境にやさしい農産物の認証制度が始まったところ。有機農法では、隣地農地からの農薬散布が影響を及ぼす可能性が高いため、エリア分けは理想的。栽培農家、耕作状況などを含め検討したい。

地域計画の周知不足

議員 今後、農業従事者の激減が予測されるなか、私たちの地域の農業、農地をどうしていくか、できることは何か、農業関係者だけでなく、関係者以外の方に知ってもらうことのほうが大事。地域の農地を、日本の食料を、守っていくことが大変だと多くの人が気づけば、農業関係者以外の人たちが、自分たちにも何かできることはないかと参入してくるかもしれない。町に住む人全員に関わるのはもちろん、これから農業を志し、土地を探す人にも知らせたい内容。周知に不足を感じる。

町長 周知については、町と併せて農業委員会としても考えていき

たい。地域計画には、今回の米騒動に慌ててスーパーに走った皆さんに、ぜひ参加してもらいたい。この地域を誰が守っていくのか、自分たちではできないので、他人に任せるのか。農家の皆さんだけが農業のことを考えているだけでは農地は守れない、町に住む土地持ち非農家の皆さんも責任を持ってこれに関わってもらいたい。

クラインガルテンを

議員 移住者や関係人口を増やすこと、農ある暮らしの推進、まちの活性化など、土地利用や整備計画のなかに、岩手県紫波町の「ノウルプロジェクト」のような、公民連携で取り組まれる農地付き住宅（分譲型・体験型）を設けては。

町長 農家でなければ農地を取得できないということがなくなった現在、農地付き住宅は可能。二地域居住や、空き家の活用を含め、農地付き住宅の宅地開発を考えていきたい。

長野県が「そば県」になるにあたって

議員 そば栽培は、遊休農地・耕作放棄地対策にもなり、国の食料自給率向上にもつながる。産地交付金の拡充、種代の補助など「赤そばの里」箕輪町として取り組める施策はないか。また、観光・製品化・販路拡大への取り組み、町に

お蕎麦屋さんが少ない、シェア蕎麦屋などできないか。

町長 栽培については、既存の補助事業を活用して検討。そばに関わる商品の開発も研究したい。

庁舎・公共施設の 周辺整備

議員 庁舎や文化センター、保育園周辺の植え込みが荒れている。放っておかず、ボランティアで作業してくださる方も現れた。整えられた町は、治安の維持にもなる。庁舎はじめ、町中の公共施設（保育園・町道・歩道・バス停周辺など）を一括整備する、都市整備課もしくは、専任者を置いてはどうか。

町長 課を置く必要はないが、内容については納得。経費をかけて実施していくかは検討。

こどもの居場所と中間教室

議員 利用者である保護者や児童・生徒にとって、今ある中間教室と居場所の違いが分かりづらい。役割と位置づけの違いは。

教育長 こどもの居場所は、不適切な生活環境や養育状態に課題のある家庭の保護者やこどもに対しての支援や相談に重きを置くもので、中間教室は、不登校児童生徒が学校への復帰を目的にしている。



コミュニティスクールの課題は

う え だ ま な ぶ
上田 学 議員

教育長 コーディネーターの人材不足



コミュニティスクールの現状と課題

議員 箕輪町における信州型コミュニティスクールの取り組みについて、地域住民の参加状況やこれまでの成果、さらに今後の課題は。



教育長 町内の全ての小中学校で信州型コミュニティスクールが導入されており、地域住民が積極的に学校運営に関わっている。特に、学校と地域が協力し、子供たちを支える取り組みが行われている。しかし、コロナ禍で一時的に活動が停止していて今年度から徐々に再開してる。課題としては、コーディネーターの高齢化と人材不足が挙げられる。

議員 コーディネーターの理想的な必要人数は。

教育長 各学校に1名ずつのコーディネーターが必要と考えているが、現在はその確保が難しくなっている。

議員 コーディネーターに必要なスキルとは。

教育長 人と人をつなぐことのできるコミュニケーション能力。地域のことをしっかりと知っていること。子供に対して本当に愛情を持って取り組むことができる人。課題を調整してまとめていくといった力など。

議員 地域の意見や提案が学校運営にどのように反映されているのか。

教育長 地域の意見は、学校だよりや地域との会議を通じて共有され、職員会議で検討されている。特に、地域住民の声が学校運営や教育内容に反映される場面が増えており、今後もこの連携を強化していきたいと考えている。

議員 子供たちが直接地域との活動に参加する仕組みは。

教育長 現在、地域住民が学校に足を運び、子供たちの活動を見守

る機会はあるが、子供たちが直接会議に参加する仕組みはまだ整っていない。今後、子供たちの意見をもっと積極的に取り入れるための工夫が必要だと考えている。



議員 コミュニティスクールを今後、信州型から国型にしていくつもりは。

教育長 今の信州型コミュニティスクールを大事にしていきたい。

教育課程特例校制度

議員 教育課程特例校制度の導入の考えは。

教育長 現時点では、現行の学習指導要領の中でできることで最大限のことはできているので、この制度に手を挙げることは考えていない。

中学校のホームページ

議員 中学校のホームページが十分に更新されていない理由は。

教育長 家庭連絡システムの活用が始まり、その活用に重点を置いていて対応が遅れている。

地域経済とまちづくり

議員 「地域内乗数効果」の導入の考えは。

町長 勉強して数値化できるか考えたい。



中曽根の産業用地 開発中止の経緯は

町長 必要という考えに
変わりはない



議員 中曽根の産業用地
開発中止の経緯は。

町長 産業振興を目的として、企業誘致のための産業用地に中曽根地区を選定させていただいてから、昨年末に土地所有者に向けて説明会を実施しおおむね2年近くかった。この間に議会、農業委員会、土地改良区、耕作者、区の関係者へそれぞれ説明をさせていただいた。今年6月の段階で、なかなかすべての皆さんにご理解をいただくことが難しい状況であり、これ以上時間をかけるわけにはいかない。苦渋の判断として最終的に開発は中止という結論を出した。

議員 中曽根地区の何人かの皆さんより、計画を進めてほしいという要望を頂いているが。

町長 今後将来を考えたときに、雇用から始まって様々な観点から産業用地は必要だという考えに変わりはない。この町のためにやる必要があるかどうかを考えた上で、町の事業計画に快く賛同していただける状況にあるかを判断していく。スピード感を持ってこの事業に当たらないと成果が伴わないので、理解をいただきたいと思っている。



おぎはら しゅうごう
荻原 省三 議員



区長会との 懇談会

7/5(金)

参加者が今後の区の在り方・災害・防災など4つのテーマについて、グループごとに懇談を行いました。

区長と議員が定期的に話をする事、役員のなり手不足が課題であることなど、出された意見や課題などを共有。

参加議員 入杉・小出嶋・南・平出・小口・中村・中澤
北野・白鳥・中野・岡田・寺平・荻原



長野県町村議会議長会研修会

7/12(金)

大正大学の江藤教授による、議員のなり手不足は「住民自治の危機」その打開の道を探る。月刊『ソトコト』指出編集長による「私達はローカルで幸せをみつける」関係人口とリジェネラティブ(再生させる)を聴講。

参加議員 入杉・小出嶋・平出・小口・中村・中澤・上田
北野・金澤・白鳥・中野・岡田・寺平・荻原

地域おこし 協力隊交流会

7/22(月)

活動して欲しいテーマ・活動における課題などをグループディスカッションをした。

移住者ではなく地域おこし協力隊員として活動することを選んだ理由などを伺った。

参加議員 入杉・小出嶋・平出・小口・中村・中澤・上田
北野・金澤・白鳥・中野・岡田・寺平・荻原



南箕輪村太陽光発電施設等視察

総務
産業

7/24(水)

6月定例議会で太陽光発電施設設置等に関する条例を制定した経過について、県条例ができたが、この条例では村の実態に合っていないため、村民の安心安全を守る独自の条例を制定した取り組みについて研修した。



薬用人参を栽培している営農型太陽光発電システムも現地視察を行った。

参加議員 岡田・平出・中澤
中野・南・金澤
寺平・荻原

議会活動日誌

活動の一部を紹介します

- 2日 東金市議会行政視察受け入れ
伊那中央行政組合臨時会
- 3日 広報特別委員会
- 4日 文化財保護審議会
- 5日 区長との意見交換会
- 6日 社会を明るくする運動
青少年健全育成推進上伊那北部地区大会
- 7日 駒ヶ根市制施行70周年記念式典
- 8日 広報特別委員会
- 9日 箕輪町フェンシング全国大会実行委員会
消防参与会
- 10日 広報特別委員会
- 7月 11日 南部国道連絡会総会
- 12日 長野県町村議会議長会研修会
- 16日 桑沢浄水用水施設監査、総会
地域おこし協力隊と活性化委員打合せ
- 17日 議会運営委員会・臨時議会・各常任委員会
- 22日 地域おこし協力隊との意見交換会
- 24日 総務産業常任委員会太陽光発電視察調査
- 26日 竜東線箕輪地区整備促進期成同盟会
県道与地辰野線整備期成同盟会
- 27日 みのわ祭り
- 30日 上伊那地区非核平和大行進
伊北地区正副議長局長会
- 8月 1日 福祉文教常任委員会
- 6日 上伊那広域連合議会運営委員会
国保運営協議会
- 9日 太陽光発電指針勉強会
移住農家との懇談会 ■
- 15日 二十歳のつどい
- 19日 下水道運営審議会
- 20日 上伊那広域連合定例会
- 21日 竜東線整備促進期成同盟会
- 22日 議会運営委員会
下水道事業会計勉強会 ■
議員定例協議会
- 27日 広報特別委員会
- 28日 農政対策委員会総会
- 9月 2日 9月定例会初日
- 7日 社協ふれあい広場
- 8日 町安協マレット大会・親睦会
- 9日～10日 9月定例会一般質問
- 11日～13日 9月定例会委員会審査
- 17日 9月定例会最終日
- 18日 フェンシング全国大会実行委員会
“そば処古田の里”食堂棟お披露目の会
- 19日 広報特別委員会
- 20日 交通安全人波作戦
議場放送設備改修工事プロポーザル審査会
- 21日 赤そばの里オープニング式典
- 22日 第65回町内一周駅伝大会表彰式
- 24日 県町村議会議長会政務調査部会
- 25日 全国町村議会議長会広報研究会 ■
- 27日 議会広報特別委員会
ふきはら祭開会式
八百津町行政視察受け入れ
- 28日 郷土博物館リニューアルオープン式典

移住農家の皆さんと懇談会

移住者目線から箕輪町の魅力や新規就農の課題、農業振興のヒント等、宿題をたくさんいただいた。

参加議員 岡田・平出・中澤・中野
南・寺平・中村・小口・荻原

総務
産業



8/9(金)

下水道会計勉強会

一般会計と異なる企業会計を使用している下水道会計について、昨年度に続き2回目の勉強会を行った。各会計の決算書をもとに収益的収支、資本的収支等について財務諸表から経営状況の判断材料の見方などを研修した。

参加議員 岡田・平出・寺平・南・小口

総務
産業

8/22(木)

全国議長会広報研修会レポート(広報委員)

～開いてみたい「ざかいだより」へ～

ニッショーホール@東京都

まさに今号を制作している最中の研修でした。このメンバーでの発行は85号から。「議員を身近に、読んでもらえる広報誌へ」をコンセプトに取り組んできたことの、答え合わせのような研修でした。

読む人の心の変化を促すこと、読む人側の視点で作ること、情報やボリュームが住民ニーズと合致しているか。今年度から始まったモニター制度の声を見ても、まだまだ課題はたくさんありますし、広報改革は過渡期であることを実感しました。特に「文字の多さ」をどう改革していくか。皆さんの声で広報誌は変わります。

議会だよりコンクールで幾度も日本一になっている「寄居町」の誌面をぜひホームページでご覧ください。

参加議員

中野・白鳥・平出・南・小口



モニターの声



- ・「ざかいだより」が明らかに読みやすくなり変わった。
- ・「審査のなかみ」は動きが明確で、町の動きが見えた。
- ・「議員の視点」で何を問題視したのかわかりやすい。

- ・町民の声を知る、届けるページが欲しい。
- ・町民の声で課題を捉えて一般質問で話をして欲しい。
- ・一般質問のページは、文字が多く読むのが疲れる。
- ・89号特集のように、その後どうなったかをもっと知りたい。
- ・議会や町政について知りたいことが増えた。



あなたの声をお聞かせください。

ご意見・ご要望
入力フォーム

仕掛け人は町民 みんなのパワーが町を変える

自治チカラ Vol.3

獅子舞がつなぐコミュニティ

中曽根区にある伝統行事「獅子舞」は、五穀豊穡や家内安全とともに、厄落としとして、小正月に中曽根の八幡社と、辻(中曽根2ヶ所のバス停付近)などで舞われます。

「獅子が頭を噛むと、小さな子どもは大泣きしてしまうがね。獅子舞は、伊勢の国から伝わった飢饉や疫病などを追い払うための大切な行事。たくさんの人に知ってもらい継承していきたい。」と中曽根獅子舞



町無形民俗文化財「中曽根の獅子舞」

保存会の幹事長小林正美さんは話してくれました。

舞は5種類あってそれぞれに意味があります。「天の岩戸をひらく」「悪魔を払う」「五穀豊穡」など。獅子に頭を噛まれると邪気払いとなって、いい年にできるといわれています。

現在会員は75人。公民館役員をするとそのまま保存会員になる仕組みで、区をあげての活動。暑気払い・区民交流会・正月の舞のため練習をして、地域文化の伝承をしながら、コミュニケーションを深めています。

感染症で中断していましたが、今年4年ぶりに獅子舞が奉納されました。小林さんは「獅子を箱から出した時、獅子が笑った気がしました」といいます。山麓の自然と人と物の交流を、中曽根の獅子舞も待っていたのかもしれません。



小林幹事長



プチ情報

正月の獅子舞は、令和7年1月12日(日)9:30 八幡社奉納のあと、新区長宅、辻(2ヶ所)、中曽根公民館を2時間ほどで回る予定です。ぜひ、行ってみてくださいね。

15歳の目 中学生模擬議会開催

箕輪中学校3年生が議員として登壇します。学校生活や日常生活の中で感じたこと、これからの箕輪町への思いを、町長・教育長に質問・提案します。

模擬議会の様子は、次号「みんなのざかい」でお伝えします。

日時 11月15日(金)午後
場所 町役場3階 議場

YouTube配信
もあります♪



編集後記

皆さんが使うスケジュール帳は何月始まりですか？私は1月始まりなので、来年の準備をする時期です。私が、心身を整えるのに大切にしているのは月のテンポや暦なので、スケジュール帳は新月や満月、一粒万倍日や五節句などが記載されたものが好みます。手帳は一年を振り返る大切なツールでもあります。今号の特集は「町の決算」、昨年度の振り返りです。町がどんな方針で何にお金を使ったのか。皆さんの声が次のまちづくりのヒントになります。ぜひチェックしてみてください。

(中野 友美)

12月定例会の日程

12月2日(月)	開会
9日(月)	一般質問
10日(火)	一般質問
11日(水)～13日(金)	委員会審査
17日(火)	閉会



議会だよりに関するご意見がありましたらお寄せください。

議会事務局

電話 0265-79-3187(直)

お問い合わせフォームはコチラ▶



[議会広報特別委員会]

中野 友美 (委員長) 白鳥 真吾 (副委員長)
南 朋子 平出 広志 小口 智世